

創立110年の道程

THE 110TH ANNIVERSARY OF FOUNDATION

2012~共創

2003~未来

1982~発展

1961~転換

1948~新生

1919~激動

1903~黎明

年輪のあらし

- 元年 明治36年 志太郡立農学校として設立
- 16 大正8年 県立藤枝農学校に
定員300人
- 25 昭和3年 校舎落成
- 45 昭和23年 定時制課程設置
- 46 昭和24年 別科(女子2年)設置許可
- 58 昭和36年 県立藤枝北高等学校と改称
- 60 昭和38年 体育館兼講堂新築落成
- 68 昭和46年 本館工事終了
- 72 昭和50年 プール新設、農場、グラウンド
拡充
- 76 昭和54年 農業科40、園芸科40、生活科
80、工業化学科80人定員に
- 79 昭和57年 創立80周年記念式典を挙行
- 86 平成元年 第1体育館完成
- 89 平成4年 同窓会館白銀館落成
- 92 平成7年 電子計算機組織を整備
- 100 平成15年 総合学科に改編
記念式典と百銘館落成
- 105 平成17年 生産流通、システム化学科、編
報化学科閉科式
- 110 平成24年 創立110周年式典挙行

*同窓会新理事の ご紹介(平成24~27年度)

氏名	回次	支部
鈴木金苗	46	川根
興津戸志江	47	藤枝
竹田勲	48	広幡
増田一彦	48	静浜
向島春江	50	瀬戸谷
宮下潜之	50	中川根
木野謙一	50	西益津
芝田米蔵	51	青島
地野行雄	52	吉和
増田信行	54	水田
鈴木城二	54	六号
松浦紀久郎	56	青島
池田進	56	東益津
村中孝雄	56	藤枝
望月志雄	56	朝比奈
石田友江	56	高洲
増田勝幸	58	豊田
池谷薫	60	静浜
杉村富士雄	60	西益津
村田勝司	60	富
増田勝雄	62	富
塚本澄雄	62	初倉
平口恭利	70	瀬戸谷
(監査員)		
入野駿一郎	51	朝比奈
増田嘉裕	54	大洲

*同窓会の会員数

(平成24年3月31日現在)
[1~107回次]

	男	女	計
在籍会員	12,325	4,596	16,821
物語者	2,625	59	2,684
現会員	9,700	4,537	14,237
住所不明	1,237	591	1,828
差引	8,463	3,946	12,409

記念事業

- ① 授産教室の整備
 - ② 全洲設備の整備(天井吊革内機・マイク・リレー、放送設備更新)
 - ③ 記念式典
- 日 時 平成二十四年十一月九日(金)午前
九時から九時三十分
自強祭 校内祭 当日
会場/第1体育館
参加者/在校生、同窓会、後援会、PTA、教職員他

二〇周年記念事業

同窓会、後援会、PTA、学校の代表による実行委員会を設け、事業の内容について検討し記念事業の執行を進めてきました。

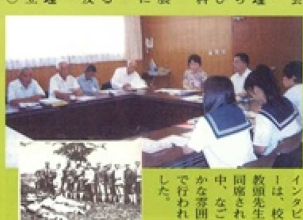
創立一〇周年の平成二十四年は、ロンドンオリンピックと金曜日食の記念すべき年でした。我が同窓会の、この年の年一ワードは絆。同窓会の絆をさらに深めよう。



●中庭での自強祭ステージ
●模擬店などの様子

記念行事

- ① 同窓生及び学校関係者等と記念インタビュー、または同窓生会を行い、インタビューは生徒会委員が実施した。
- ② 校史(歴史)資料の整理
- ③ 旧校舎内に板入れ付けられ、古い彫刻の展示及び保管、百銘館、附一資料室。
- ④ 本校に歴史的写真の展示
- ⑤ 示創立一〇〇周年時に集められたもの他
- ⑥ 自強館に保管されている物語の故事の調査及び展示(資料)の作成
- ⑦ 周章行事刊行物の整理



▲昭和17年度 計量課

創立一一〇周年記念式典は 平成24年11月9日、自強祭と共に!!

自強祭は
11月
9日(金)・10日(土)
開催!!

同窓生と二〇年を
振り返る
記念インタビュー

この日は、一〇年の母校の歴史を生徒に伝え、さらに二〇年に向けての思いを伝えるために、八月十日(土)から本校会館で開かれました。

四〇回(五〇回)前後の卒業生八人、在学中のときと、授業の内容、軍事教練、北条道徳、当時の藤枝や津津等の状況や得たものなど、十四項目にわたる事項について伺いました。

在校生たちが聞き手となったこの記念

快挙!! 北高農業クラブ

全国大会出場

北高ストア大人気!

北高ストアは、本校生徒が作った農産物や食品をはじめ、生産者加工業者のソーダ、ソーシで開発した新商品を販売しています。主に伝統的な学習の時間と北高ストアを運営した生徒が取り組んでいます。

安心安全おいしい食を追求した「トマト豆腐」を地元業者と開発し、第一回開成販売会は、市民からも好評を博しています。その実績の様子を学校農業クラブの県大会で発表。さらに開成大会に進み、最優秀賞を獲得し、全国大会に進むことができました。園芸科学三年の小畑様大輝君も、県の発表会で優秀賞を受賞しました。



在校生の活躍

藤枝北高の総合学科 自分の進路は自分で決める

平成15年度より改編された総合学科も、すでに10年近くの実績を経るに至っています。この間、1世紀以上の伝統校たる良さを堅守しながら、社会の変化・ニーズに即し、在校生の多様な将来への夢の実現に、柔軟に対応する教育のあり方を確立してきました。右記事はその成果の現れのひとつといえるでしょう。

そこで今回、我が後輩が真摯に取り組んでいるこの総合学科の学習内容について、改めてその概略をご紹介します。

3年間の学習内容

1年生 普通科科目24単位 総合学科基礎科目2単位 学科設定科目3単位



「産業社会と人間」「食生活と環境」
●「産業社会と人間」は、自分の進路や将来の職業について学びます。
●「食生活と環境」は、食生活の科学的知識で、一人ひとりの食生活の改善を図り、スイカ、大根、白菜を栽培して食料の大切さや作物を育てる喜びを学び、健全な食生活を営むための実践力を養います。

2-3年生

普通科科目

系列基幹科目

総合選択科目

普通科科目と専門科目の中から選択できます。

自分の進路や興味・関心に合わせて6系列の中から1つを選びます。

3年次は2年次の系列を継続します。

園芸科学系列	食品科学系列	情報科学系列
農学系の大学・短大等への進学や就職をめざす系列で、専門科目では野菜や果物の栽培や活用などについて学習します。	食品系の大学・短大等への進学や就職をめざす系列で、専門科目では食品の製造や販売、流通などについて学習します。	情報、工学、商業系の大学・短大等への進学や就職をめざす系列で、専門科目では情報処理、情報機器の活用、商業などについて学習します。

環境化学系列	自然科学系列	人間社会系列
理工系の大学・短大等への進学や就職をめざす系列で、専門科目では工業化学、環境化学などについて学習します。	理系や教育系の大学・短大等への進学や就職をめざす系列で、理数系の普通科科目を中心に学習します。	文系や教育系の大学・短大等への進学や就職をめざす系列で、文系の普通科科目を中心に学習します。

取得できる主な資格検定

- 農作物取扱検定
- 食品衛生検定
- 日本漢字能力検定
- 実用数学技能検定
- 実用英語技能検定
- 食生活アドバイザー
- 基礎情報処理技術者
- 情報処理技術検定
- 全経情報処理能力検定
- 全経簿記検定能力検定
- 全経簿記検定能力検定
- 全経簿記検定能力検定

進路

進学・就職どちらにも偏らない、生徒一人ひとりの希望を大切にします。生徒のあり方・生き方を第一に考える個別指導重視の進路指導を行っています。

生徒総会

卒業生の進路状況

卒業年度(平成)	23	22	21	20	19
卒業生数	190	191	198	198	199
進学(四年制大学)	23	27	26	37	37
進学(短期大学)	14	13	16	14	18
進学(専門学校等)	60	61	70	57	58
進学未決定	1	0	0	0	0
進学者合計	102	106	113	110	113
就職者	85	85	85	88	86
就職未定者	3	4	0	2	0
その他		1	1	0	0

2013年入試 学校の裁量枠

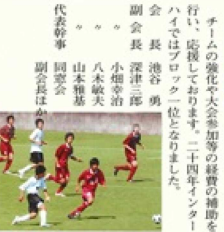
北高総合	体育的活動		希望者
	I	II	
	サッカー(男)、野球(男)、卓球、フットボール(女)、レスリングにおける実績、適性、活動意欲	18% 程度	希望者
	中学校における学習	32% 程度	全員
	リ教科の学習成績		

シングルスで初の金国大会出場!!



【卓球部女子】
朝年六月、静岡市中央体育館で、県大会卓球シングルス部の部が行われ、三年生高橋麻衣はよく練習して第三位に達し、シングルスでは初めての全国大会出場を果たしました。
団体戦では平成22年度3連覇を果たしましたが、23年度は惜しくも準々決勝で敗れ、この悔しさがシングルスに繋がったと思います。

同窓生の応援 サッカー部 後援会



チームの強化や大会参加などの経費の補助を行い、応援しております。二十四年度インターハイではブロック一位となりました。
代表者 同窓会 会長 山本雅夫
副会長 池谷 薫
代表者 同窓会 会長 山本雅夫
副会長 池谷 薫

同窓生ゴルフ会のご案内

发起人 山崎 正行
(054) 281-1422
小野田 健司
(054) 644-7235
市澤 末廣
(054) 635-7299
みなさんの健康づくりの生活スポーツとして、さらに同窓生の相互交流と、同窓会ゴルフの普及を計画しております。
初めての方はご指図いたします。コースでの楽しいプレイに是非、参加してませうか。
ご参加いただける方は、左記の方に電話してください。

名誉理事 増田 篤司



が「白雲不息」の字を見て「もしかして北高の……」と声をかけて来ました。言までもないことですが、ここから同窓生と恵の会話がはじまりました。また北高へ勤務された校長先生から、「北高の同窓生はど校園を身近に受けてめているところほか校にはあまりないですね」と言われたとがあります。

同窓会は、母校があったりすることであらうから、母校が、層層発展するよう協力して行かなくてはならぬと思います。また、同窓会の活動活性化が望めます。一つには支部活動の活性化が望めます。地域に於ける同窓会の交流の機会を設けてほしいと思います。同窓生同志の交わりも必要です。それから、同窓会クラス会など各同次別にも、ともつと開催してほしいと思います。そして、同窓生同士の絆を深めたい。また、だんだんとその絆を深めたい。

座各支那とも上段が正、下段が副支那係で十

支部	氏 名	回次	支部	氏 名	回次	支部	氏 名	回次
泉東部	山田 京一	48	東益津	原川 節夫	50	島田	塚本 壽治	48
	不在		増田 剛男	56		増田 智浩	58	
静清庵	大畑 武重	52	焼 津	鈴木 芳男	46	初 倉	興津 喜祐	55
	不在			藪科 光生	62		塚本 久雄	62
朝比奈	村越 宏明	55	豊 田	青島 洋侑	58	金 谷	北川 治房	48
岡 部	前島 英三	63		増田 勝幸	58		山下 稔一	46
	杉山 芳伸	59	小 川	小林 昭敏	54	川 根	守 守 正	60
	餅田 勘次	59		増田 晴敏	54		米澤 國雄	60
広 幡	石橋 清雄	60	和 田	谷 健 健	48	川根本	宮下 浩之	50
	谷澤 忠雄	59		鈴木 正志	62		高松 肇	53
葉 梨	秋山 銀治	50	大 富	増田 勝司	61	吉 田	増田 嵐夫	54
	大塚 博巳	65		増田 正光	65		桑高 茂夫	58
藤 枝	小野田 正明	58	相 川	藪品 恵二	48	川 崎	中西 功	64
	増田 淳 58			平井 貞夫	48		石神 志幸	64
西益津	西形 信夫	57	静 浜	増田 一彦	48	服 部	神崎 尚司	60
	梅原 勝彦	59		横山 静彦	53		小関 寿男	61
稲 葉	鈴木 有 50		吉 永	河野 延雄	52	岡岡田	松井 昇雄	61
	大塚 雅司	50		石岡 鈴司	58		山本 舜己	61
瀬戸谷	大畑 敏夫	51	六 舍	鈴木 肇	56	相良御前	鈴木 殿夫	55
	森谷 晃 51			鈴木 城二	44		不在	
青 島	松浦 一郎	56	大 津	八木 茂好	64	泉西部	鶴澤 満夫	46
	松浦 浩清	56		上 柳 寿夫	71		森 下 恒一	61
高 洲	曾根 貞夫	48	大 長	山富 士雄	50	東 京	不在	
	杉本 庄重	48		小沢 勝 56			不在	
大 洲	増田 時雄	49	伊久美	西澤 勇 56			不在	
	不在			奥田 周一	62			

静浜支部長 増田 一彦



同志会からの要請に基づき役員会を開き、その主旨を説明し、各地区役員が全会員宅へ二人一組を原則に、協力ををお願いして回った。其の結果、一、二万円もの寄付金をまとめる好結果となった。

(2) 女子卓球全国総体出場の寄付活動（平成二年）

役員会を開いた後、各地区役員が会員宅を回り四七人から一〇八千円もの寄付をいただき前回同様感激の誇りに思ったところだ。

①将来の生徒のために
母校発展のために、学校、PTA、同窓会、後援会が密接連携を築き、将来の生徒のために修学旅行、就職

(1) ① 昭和元年記念事業の寄付
活動(平成・四年)

支部の組織づくり

(1) 各支部、地区別に、その名簿から、正支支部に所属するつくりか字の者を抽出し、投票候補を選挙した。

(2) 正支支部は先づ、この候補者宅に別訪問員を同席につけて説明し、支部の役員になることを要請し、賛成を得る努力をした。

(3) 任期には四年を目安にするが、実際は終身有任で多くの役員誌した。

支部活動の実績

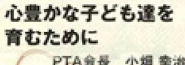
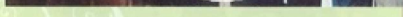
① 平成元年九月一日、焼津グランドホテルにて、創立総会を開催した。

② 幹事委員会は、毎週、貸食会の会費、懇親会を企画実施する。今年も七月日に開催した。そまかみの話と和やかにこれからの話のアイディアをつくって生かしています。特に人々で多くなる会費相互のつながりを、さらに深めるため今秋には、八回大会、四六次、卒まで呼びかけ懇談会開催の予定です。

③ 支支部同僚懇談会 川用・静波・吉志、平城ホールで、二月二日、大井町明日の会への参加によって来所して親睦を深めることができました。

④ 焼津市支支部同僚懇談会
平成二年九月一日、焼津グランドホテ

支部活動



一一〇年
 志太の大地を耕し、
 心耕して！
 幸福こそ我幸福、心豊かな
 子供達が育つ母校であってほ
 しいと思います。

委員 中論 強学 点が 点、

和という時役立ちます。田
城下屋敷「日知館」では、
面や四文字熟語を教へ「自
不息」も江戸時代からの哲
かと思われまふ。

3

[illegible]

同窓会へ
思いを寄せ参加を

頼むし、写真は委員の増田勝幸さんが撮
ってくれ、一校を終えた。

同窓会への意識を持ってもらうため
に、この「だより」がその一紙となれば
と、結びに代えて。 かめやす

[illegible]